

主要事業一覧

(単位:千円)

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|--|---------------------|--|
| (新規) 浅間山火山ハザードマップ 等作成支援 | 10,000 | ・大規模噴火も想定した避難計画の策定を円滑に進めるため、浅間山火山防災協議会(本県、長野県、周辺6市町村で構成)が実施する「ハザードマップ作成事業」について、負担金を支出。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業費:20,000千円 ・負担割合:1/2(長野県と折半) ・完成予定:H29年度 (このマップを基に、周辺市町村が避難計画をH30年度に策定予定) |
| 危機管理室 | | |
| コンベンション施設整備推進 | 182,493 | <ul style="list-style-type: none"> ・高崎競馬場跡地におけるコンベンション施設の整備に向けて、実施設計や測量等を実施。 ・実施設計委託料 398,000千円 うちH28年度:175,000千円 H29年度:223,000千円 ・開発区域設定のための測量等 7,493千円 |
| コンベンション推進課 | 債務負担行為 (223,000) | |
| コンベンションビューロー 活動推進 <地方創生推進交付金事業> | 6,854 | <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県コンベンションビューロー(9月15日設立予定)により、県内への誘致活動や事業者のネットワーク形成のための事業を実施。 誘致活動の展開 2,962千円 パンフレットや誘致活動用グッズの作成、専門紙への広告掲載等 ネットワーク形成支援 3,892千円 県内のコンベンション開催に関わる事業者を主催者へ周知し、主催者と県内企業とのマッチングを図るため、関連事業者を業種ごとにリスト化したデータベースを作成。 |
| コンベンション推進課 次世代産業課 | | |
| 東国文化周知 <地方創生推進交付金事業> | 5,400 | <ul style="list-style-type: none"> ・東国文化への理解を深めるため、スマートフォン等を利用して、黒井峯遺跡、太田天神山古墳、歴史博物館など、東国文化ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施。(H29年2月~) ・既存アプリの改修及びチラシ(台紙)印刷。 |
| 文化振興課 | | |
| (新規) 「よみがえれ!古墳人」プロジェクト <地方創生推進交付金事業> | 49,840 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史博物館のグランドオープン(H29年7月)での公開に向け、金井東裏遺跡から発掘された「甲着装人骨」等の保存処理や復顔・全身レプリカの作成、3D映像の制作などを実施。 ・甲着装人骨等の保存処理 9,889千円 ・展示模型(復顔を含む)の作成 20,011千円 ・3D映像の制作 19,940千円 |
| 文化振興課 文化財保護課 | | |
| (新規) 歴史博物館の東国文化発信拠点化 <地方創生加速化交付金事業> | 14,450 | <ul style="list-style-type: none"> ・「東国文化」の一層の周知を図るため、発信拠点としての歴史博物館の情報機能を強化する。 ・東国古墳文化展示室の音声ガイド整備 ・学習ホールの情報端末ソフトウェア開発 ・東国文化周知のための映像制作 ・県民向けシンポジウムの開催 など |
| 文化振興課 | | |

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|-------------------------------|------------------------------|--|
| アウトドアスポーツ推進 <地方創生加速化交付金事業> | 3,000 | <ul style="list-style-type: none"> ・稜線トレイルを中心とした県内のアウトドアスポーツの認知度向上を図るため、シンポジウムを実施する。 ・開催時期：H29年3月 ・内 容：基調講演、パネルディスカッション |
| スポーツ振興課 | | |
| リード競技用クライミングウォール設置工事 | 37,368 債務負担行為 (51,732) | <ul style="list-style-type: none"> ・H29年7月開催の国体関東ブロック大会でスポーツクライミングが実施されることに備え、ALSOKぐんまサブアリーナ内にリード競技用クライミングウォールを設置。 ・事業費：89,100千円(うちH28年度：37,368千円) ・工 期：H29年1月～5月 |
| スポーツ振興課 | | |
| 新しい有害環境から子どもを守る取組推進 | 579 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネット利用に起因する青少年の犯罪被害やトラブル防止のため、セーフネット標語「おぜのかみさま」鉄道キャンペーンを実施。 ・実施路線：JR(上越線、吾妻線、両毛線)、東武伊勢崎線、上毛電気鉄道 ・実施期間：H29年2月 ・実施内容：車両内に「おぜのかみさま」ポスターを掲出 |
| 子育て・青少年課 | | |
| 前橋赤十字病院建設事業費補助 | 400,000 | <ul style="list-style-type: none"> ・国から内示のあった国庫補助金を活用し、前橋赤十字病院の建設事業に対する補助を増額。 ・当初予算 1,362,583千円 補正後 1,762,583千円 <p><新病院の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転場所：前橋市朝倉町及び後閑町 ・病床数：555床 ・工 期：H27年10月～H30年2月 |
| 健康福祉課・医務課 | | |
| 地域医療介護総合確保基金積み増し | 235,273 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金(医療分)について、国からの基金内示額に基づき、積み増し。 (財源割合：国庫2/3、県費1/3) ・当初予算(医療分)1,182,416千円 補正後1,417,689千円 |
| 地域包括ケア推進室 | | |
| (新規) 看護師特定行為研修費補助 | 2,500 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金を活用し、在宅医療を推進するため、訪問看護事業所が看護師を特定行為研修に派遣する場合に、研修受講料等を補助。 ・補 助 先：訪問看護事業所(5か所・5人分) ・補 助 率：1/2(補助上限額500千円) 特定行為研修制度(H27.10月～) 研修を受けた看護師が、あらかじめ医師が作成した手順書の範囲であれば、その都度、医師の判断を待たずに、一定の処置を行うことができる制度。(特定行為の例：気道確保、透析管理、創傷管理など21区分) |
| 医 務 課 | | |
| (新規) 看護師養成所施設整備費補助 | 147,720 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金を活用し、H29年4月に開校予定である太田医療技術専門学校の看護師養成所の施設整備費に対して補助。 ・補 助 先：太田医療技術専門学校 (学校法人太田アカデミー) ・定 員：120人(40人×3学年) ・補 助 率：基準額の1/2 |
| 医 務 課 | | |

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|-----------------------|--------|--|
| がん対策(医療施設等施設整備費補助) | 33,478 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金を活用し、公立藤岡総合病院の新病院建設に当たり、がん診療連携拠点病院として設置が義務づけられている集中治療室や無菌病室等の施設整備に対して補助。 ・補助率:基準額の1/3 |
| 保健予防課 | | |
| (新規) 発達障害相談支援ガイド作成 | 1,491 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者やその家族が、身近な場所で必要な相談や支援が受けられるように、市町村の窓口(保健センター、こども発達支援センター等)や相談支援事業所などを分かりやすく紹介したパンフレットを作成。 ・作成部数:23,000部 ・配布先 保育所、認定こども園、幼稚園、小中学校、高校、大学、専門学校、医療機関、市町村など |
| 障害政策課 | | |
| 自殺対策の一層の推進 | 2,827 | <ul style="list-style-type: none"> ・追い込まれた末、自ら命を絶つ人が後を絶たないため、支援を必要とする人に相談先の情報が届くように、さらなる周知を行う。 ・「群馬いのちの電話」への支援 2,000千円 「群馬いのちの電話」が実施する電話相談の周知事業に対して補助(補助率10/10) ・スクールソーシャルワーカーの周知 827千円 児童・生徒や保護者の悩みや不安に対して、福祉の立場でアドバイスを行い解決を図るスクールソーシャルワーカーを保護者に周知するためのリーフレットを作成。 <p>このほか、既決予算を活用し、9月群馬県自殺予防月間に合わせて自殺防止のための周知活動を強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知事メッセージの発信(H28年9月9日実施済み) ・コンビニやパチンコ店、医療機関等へのポスター掲示 ・県公式ツイッターを活用した広報 ・県立図書館を活用した普及啓発 など |
| 障害政策課 (教)義務教育課 | | |
| (新規) イノシシの捕獲推進 | 5,000 | <ul style="list-style-type: none"> ・県イノシシ適正管理計画に基づき、市街地周辺の里山において、概ねH15年以前には生息が確認されていなかった地域からイノシシを排除するため、捕獲事業を実施。 ・対象区域:太田市金山地区 ・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の策定(生息状況及び被害状況の調査) ・捕獲事業の実施(H28年度 捕獲予定:20頭) ・太田市が実施する有害鳥獣捕獲と併せて、H33年度での排除を目指す。 |
| 自然環境課 | | |

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|--|--------|---|
| 林業・木材産業再生緊急対策(木質バイオマス利用施設等整備費補助) | 36,940 | <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備加速化・林業再生基金を活用し、林業県ぐんまの実現に向け、未利用材の活用を推進するため、木質バイオマス発電関連施設の整備等に対して補助。 |
| 林業振興課 | | <ul style="list-style-type: none"> (株)ウッドビレジ川場への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：チップ乾燥施設等の整備 ・補助額：14,940千円 ・補助率：6/10(基金5/10：県費1/10) 前橋バイオマス燃料(株)への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：木質バイオマス専用運搬車(2台)導入 ・補助額：22,000千円 ・補助率：5/10(基金5/10) |
| (新規) 農林大学校農産加工実習室整備 | 17,923 | <ul style="list-style-type: none"> ・H29年4月からの教育改革(コース改編)により、新たに「農と食のビジネスコース」を設定。同コースの加工実習に対応するため、調理加工実習室を改修する。 |
| 農業構造政策課 | | <ul style="list-style-type: none"> 工事費 13,240千円 <ul style="list-style-type: none"> ・床張替え、加工実習台入替え、空調設備設置、ガス給湯器入替え 設備整備費 4,683千円 <ul style="list-style-type: none"> ・急速冷凍機、業務用冷凍庫・冷蔵庫、蒸気式業務用オープン |
| (新規) IoT導入支援 <地方創生加速化交付金事業> | 28,124 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業や農業分野へIoT導入を支援するための研究会を立ち上げ、産業技術センター、農業技術センター、大学、民間企業等で連携し、技術研究や人材育成等を実施。 IOT(Internet of Things)：工作物や機械等がインターネットを介して連携する仕組み |
| 工業振興課 農政課 | | <ul style="list-style-type: none"> IoT研究会設置・運営 100千円 人材育成研修、専門家派遣 860千円 試験研究用機器の整備 6,000千円 自動解析用機器の整備 5,000千円 環境制御技術へのIoT技術導入試験(キュウリ、イチゴ) 16,164千円 |
| (新規) 自動運転車関連技術開発推進 <地方創生推進交付金事業> | 4,340 | <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転車関連技術の開発を推進するため、自動運転車関連技術に関する説明会や県内自動車メーカーと県内中小企業のマッチング等を実施。 |
| 次世代産業課 | | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転車関連技術参入促進説明会 343千円 県内自動車メーカーと県内中小企業とのコーディネーターを活用したマッチング 3,983千円 事務費 14千円 |
| (新規) 働き方改革推進 <地方創生推進交付金事業> | 2,644 | <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革」を普及させ、ワーク・ライフ・バランス等への理解を促すための取組を実施。 |
| 労働政策課 | | <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革アドバイザー認定 2,625千円 社会保険労務士や企業の人事労務担当者等を対象に研修を実施し、企業からの相談や社内での推進役となるアドバイザーとして認定。 事務費 19千円 |

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|--|-----------|---|
| 魅力ある観光地づくり推進 ＜地方創生推進交付金事業＞ | 3,800 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の魅力を生かした観光振興を行うための取組を実施。 ・ DMO専門人材の設置 2,900千円 「観光地経営」の視点を取り入れた観光振興策を進めるため、県観光物産国際協会に、プロモーション専門人材を配置。(H29年1月～) ・ 海外向け冬季観光素材集作成 900千円 オーストラリアで開催されるスキー観光の展示会(H29年5月)で本県への冬季観光をPRするための写真素材集を作成。 |
| 観光物産課 | | |
| 公共事業費 | 9,881,000 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川等の防災減災や成長基盤となる7つの交通軸整備などを進めるため、国補正予算を活用しながら、単独公共事業費を増額。 ・ 社会資本整備総合交付金事業 9,381,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路事業 7,958,000千円 ・ 河川事業 805,000千円 ・ 砂防事業 426,000千円 ・ 住宅事業 192,000千円 ・ 純単独事業 500,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 落石防止対策 146,000千円 ・ 道路維持補修 150,000千円 ・ 道路標識英語表記化 60,000千円 ・ 橋りょう緊急補修 50,000千円 ・ 粘り強い堤防対策 51,000千円 ・ 下水道末端管渠整備 23,000千円 ・ 小規模農村整備 20,000千円 |
| 県土整備部 農政部 | | |
| (新規) 桐生市立特別支援学校県立移管 | 1,700 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 桐生市立特別支援学校の県立移管に伴い必要となる校名板変更工事等を実施。 ・ 移管時期：H29年4月 |
| (教)管理課 特別支援教育課 | | |
| (新規) 特別支援学校作業学習の強化 ＜地方創生推進交付金事業＞ | 5,863 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に根ざした作業学習を強化し、企業関係者の理解を深め、一般就労率の向上を目指す。 ・ 作業学習に鹿革加工を導入し、製品の製作から販売までの一体的な学習を開始(尾瀬・片品地域鹿対策組織と連携し、尾瀬地域で捕獲した鹿の皮を活用)。 ・ H28実施校：2校(高崎特別、高崎高等特別) |
| 特別支援教育課 | | |
| (新規) 自動車ナンバー自動読取装置の更新整備 | 25,000 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車を利用した凶悪犯罪等の犯人を迅速・確実に検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー読取装置の更新整備を実施。 |
| (警)刑事企画課 | | |

(単位:千円)

| 事業名 | 金額 | 説明 |
|-------------|---------------------------|--|
| 交通安全施設整備 | 7,916 | ・交通量の多い通学路や、事故が多発する恐れのある交差点に、信号機を2基新設。 ・当初計画 51基 補正後 53基 |
| (警)交通規制課 | | |
| 産業団地整備(Z地区) | 260,000 (団地造成事業 会計) | ・当初予算で測量調査費を計上したZ地区について、地権者交渉が順調に進んだため、用地買収を前倒しして実施。 ・造成面積 6.5ha(分譲面積 5.9ha) |
| (企)団地課 | | |
| 財政調整基金積立 | 1,712,713 | ・地方財政法第7条により、H27年度一般会計決算の剰余金の1/2を、財政調整基金に積み立て。 ・3,425,425千円(H27決算剰余金)×1/2=1,712,713千円 |
| 財政課 | | |